

岸田再改造内閣 危険な布陣

「憲法改正の議論を進めるための布陣を強化するに心がけたかった」。岸田文雄首相は内閣改造にあたっての記者会見（13日）で「改憲シフト」の強化を鮮明にしました。第2次岸田再改造内閣では改憲派の議員が多数入閣。すでに危険な布陣となっています。

（田野侃）

「改憲布陣強化」の狙いを象徴するのが、木原總防衛相の起用です。木原氏は、自民党の憲法改正実現本部事務総長代行を務める党内有数の改憲派。日本会議国會議員懇談会の役員にも名を連ねた改憲勢力の中心人物です。茂木派でありながらも安倍晋三元首相とも近い関係とあつた木原氏は、安倍・菅政権で国家安全保障担当の直相補佐官を務めました。

言論弾圧あおる

「創生『日本』」の会員で故安倍晋三元首相の書翰を挙げ並ぶ、木原總防衛相（左）、衆院議員（右）（木原氏アロクから）



た後には、同議連の事務局長として、「安倍氏の理念を率び直す」と議連の「再始動」を主導してこます。

岸内外の改憲右派勢力と一体に憲法破壊と「戦争する国家」づくりを進めてきたのが木原氏です。

2015年6月、木原氏は安倍晋三元首相の直属議員会を主宰。会長では、出席議員や講師として招かれた作家の西田樹氏から、「安保法」を批判する報道機関に対する攻撃を繰り返すなど、「マブ」を轟いていました。

せばこう」「沖縄の二つの新聞はつぶさないといかない」「言論弾圧をあおる暴言」などが相次ぎ、大問題となりました。

木原氏は、防衛相就任後、早速、「（安保）3文書」と慕つて防衛力の抜本的強化の一歩も早く実現」を表明してきました。敵基地攻撃能力の保有など「戦争する国家」について、「戦争の動きが加速する危険があります。

18年1月には、日本会議系のシンクタンク「国家基本問題研究所」（桜井よしこ理事長）の開催研究会に出席し、「改憲シフト」を強こども。

「本当に憲法、特にこの条を改正しない」と、国家の危機と直面する「などの持論を展開し、「私の本懐は憲法改正でなく『自主憲法の制定』なべ公算してこます。

憲法改正向回も

2016-2年の自民院の各議員家」「つくりを進めてきたのが木原氏です。

改憲案だ」と述べた上で、「憲法改正は何回でもいい。」

度、改正に成功したら、国民のハードルはグッと下がると思う」と発言。自衛隊を明記する改憲に続けて2項削除へと進む「2段階改憲」の狙いをあかられあと語っています。

岸田首相は、来年の1月までの自民院議員会期中の改憲を明言しています。「憲法改正を実現したい」という思いはいざかも変わっていない

一。改憲への執念が危険な陣容を表れています。今後、憲法改正実現本部の体制や、日本維新の会、国民民主党との連携などにも注目し、警戒する必要があります。

木原防衛相など改憲・タカ派多数

危険な布陣

正しない」と、國家の危機と直面する「などの持論を展開し、「私の本懐は憲法改正でなく『自主憲法の制定』なべ公算してこます。

法記念刊特集」では、議論を優先すべき課題として「憲法の中に大きく欠落しているのが緊急事態条項」「の條に国防規定をきちんと設ける」と発言しています。

法記念刊特集

改憲案だ」と述べた上で、「憲法改正は何回でもいい。」

度、改正に成功したら、国民のハードルはグッと下がると思う」と発言。自衛隊を明記する改憲に続けて2項削除へと進む「2段階改憲」の狙いをあかられあと語っています。

改憲案だ」と述べた上で、「憲法改正は何回でもいい。」

度、改正に成功したら、国民のハードルはグッと下がると思う」と発言。自衛隊を明記する改憲に続けて2項削除へと進む「2段階改憲」の狙いをあかられあと語っています。

改憲案だ」と述べた上で、「憲法改正は何回でもいい。」

度、改正に成功したら、国民のハードルはグッと下がると思う」と発言。自衛隊を明記する改憲に続けて2項削除へと進む「2段階改憲」の狙いをあかられあと語っています。